

指 示

令和 6 年 1 月 2 6 日
給付指 2024-9

令和 6 年能登半島地震に係る障害年金等を所得制限により支給停止
されている受給権者等に関する事務処理方法

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	令和 6 年 1 月 16 日【給付指 2024-4】「令和 6 年能登半島地震により被害を受けた年金受給権者等に係る現況届等の提出期限の延長等（厚生労働省告示の公布）」 で周知した内容のうち、「30 歳前障害基礎年金、特別障害給付金及び老齢福祉年金の受給権者等の対応」に係る事務処理方法についてお知らせします。
指示の内容	所得制限のため 20 歳前障害基礎年金、特別障害給付金及び老齢福祉年金の一部又は全部が停止されている受給権者又は受給資格者のうち、令和 6 年能登半島地震の災害により住宅、家財又はその他の財産について概ね 2 分の 1 以上の損害を受けたことにより支給停止解除の申出があった場合の事務処理方法については、別添 1 のとおりです。 なお、年金請求書（国民年金障害基礎年金）（様式第 107 号）に別添 2、特別障害給付金請求書に別添 4 の被災状況届が添付されて提出された場合の取扱いは、別添 1 の 5 のとおりです。
（注意点）	年金事務所等は、被災者が抱える心情や問題に配慮し、適切な相談対応を行ってください。
別添資料	【別添 1】令和 6 年能登半島地震に係る障害年金等を所得制限により支給停止されている受給権者等から支給停止解除の申出があった場合の事務処理方法 【別添 2】国民年金障害基礎年金遺族基礎年金被災状況届 【別添 3】国民年金老齢福祉年金被災状況届 【別添 4】特別障害給付金被災状況届

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象	<input type="checkbox"/>
---------	--------------------------

令和 6 年能登半島地震に係る障害年金等を所得制限により支給停止されている 受給権者等から支給停止解除の申出があった場合の事務処理方法

令和 6 年能登半島地震により、住宅等の財産が被害を受けた次の年金・給付金の受給権者又は受給資格者（以下「受給権者等」という。）から、支給停止解除の申出があった場合の事務処理については、以下のとおりとします。

□対象となる年金・給付金の受給権者等

- (1) 20歳前に初診日がある傷病の障害基礎年金の受給権者（年金コード2650・6350）
- (2) 老齢福祉年金の受給権者
- (3) 特別障害給付金の受給資格者

1. 被災による支給停止解除の申出

上記の受給権者等から支給停止解除の申出があった場合には、上記（1）及び上記（2）の受給権者に関するしては支給停止事由消滅届、上記（3）の受給資格者に関しては特別障害給付金支給調整額変更届とともに、被災状況届（別添 2～4）を記入していただき、受付してください。提出いただく際には、市（区）町村が発行した罹災証明書等を添付してください。

なお、被災状況届については、提出する時点における被災状況等の記入を求めています。

2. 被災状況届の審査

被災状況届に記載されている状況から、被害が最も大きい財産について、損害がおおむね 2 分の 1 以上であることを確認してください。

※ 罹災証明により損害の程度（半壊以上の損害であること）が確認できる場合は、被災状況届による損害の確認は不要です。

3. 支給停止の解除期間

損害を受けた月分（令和 6 年 1 月分）から支給停止を解除します。また、上記（1）及び上記（3）の受給権者等は損害を受けた月分から令和 7 年 9 月分まで、上記（2）の受給権者は損害を受けた月分から令和 7 年 7 月分まで所得制限による支給停止を行いません。

4. 注意点

- ・ 被害金額からは、保険金、損害賠償金等により補充された金額が除かれます。
- ・ 翌年（令和 7 年 6 月頃）に、前年（令和 6 年）の所得確認を行います。前年（令和 6 年）の所得が年金の所得制限額を超えていたことが判明した場合には、損害を受けた月分（令和 6 年 1 月分）まで遡って支給停止が行われます。
- ・ このため、遡って返納が生じる可能性がある点を十分説明してください。（罹災証明を持参し支給停止が解除されたケースでも、令和 6 年所得において所得制限額を超えていた場合は、損害を受けた月分で遡って支給停止が行われます。）
- ・ 具体的な内容は【参考】（P 4～5）を確認してください。

5. 回付先

支給停止事由消滅届又は特別障害給付金支給調整額変更届と被災状況届を【年金給付】受付進捗管理システムに登録の上、上記（1）及び上記（3）に関するものは年金給付部障害年金グループ宛て、上記（2）に関するものは年金給付部給付企画第 1 グループ宛てに回付してください。

○ 新規請求書と同時に支給停止事由消滅届又は特別障害給付金支給調整額変更届と被災状況届が提出された場合

新規請求書（「年金請求書（国民年金障害基礎年金）（様式第 107 号）」又は「特別障害給付金請求書」）に支給停止事由消滅届又は特別障害給付金支給調整額変更届と被災状況届が添付されて提出された場合は【年金給付】受付進捗管理システムに登録の上、障害年金センターに回付してください。

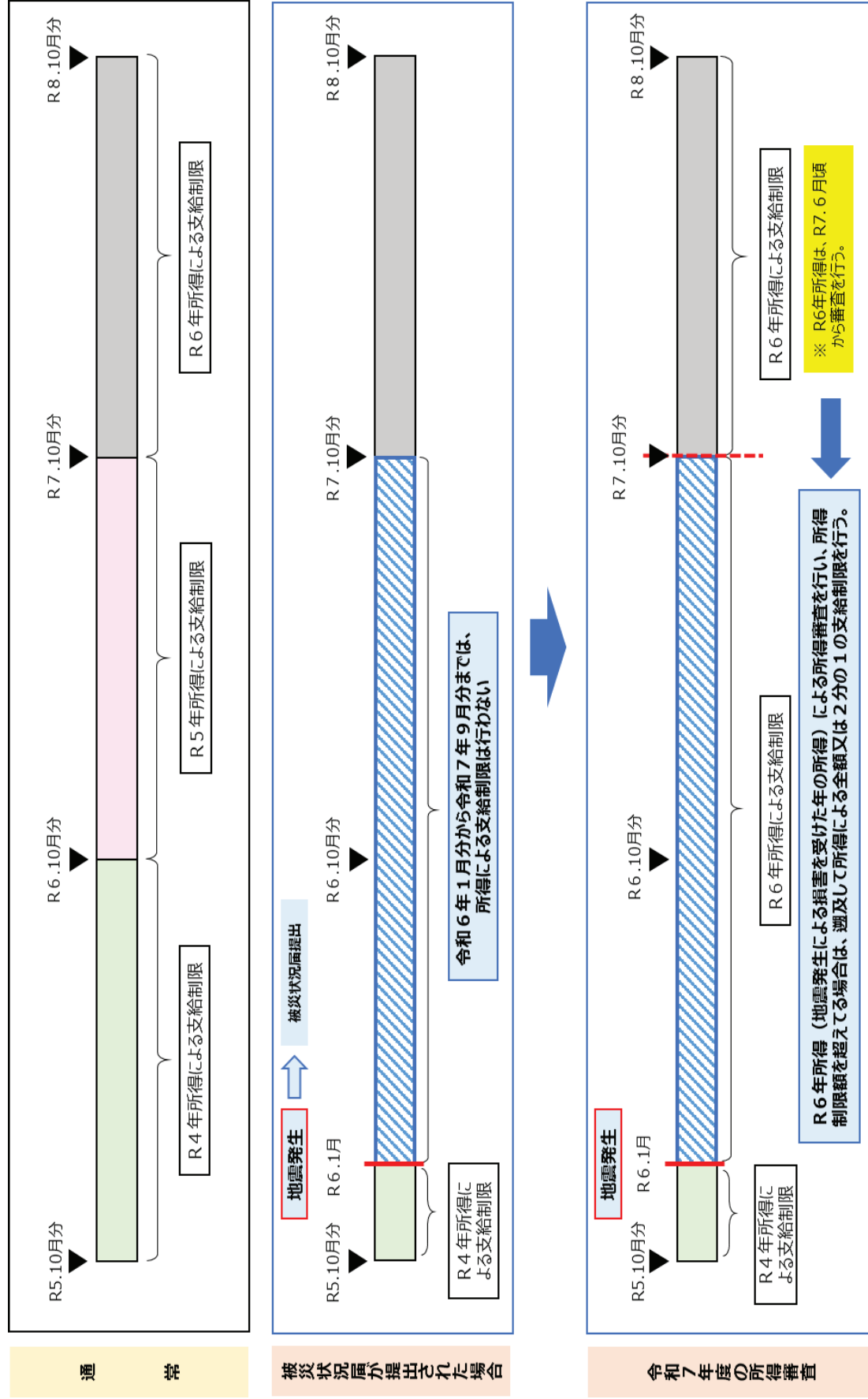
障害年金センターは、上記請求書を審査した結果、支給決定となる場合は、裁定後に支給停止事由消滅届又は特別障害給付金支給調整額変更届と被災状況届を年金給付部障害年金グループ宛てに回付してください。

6. その他

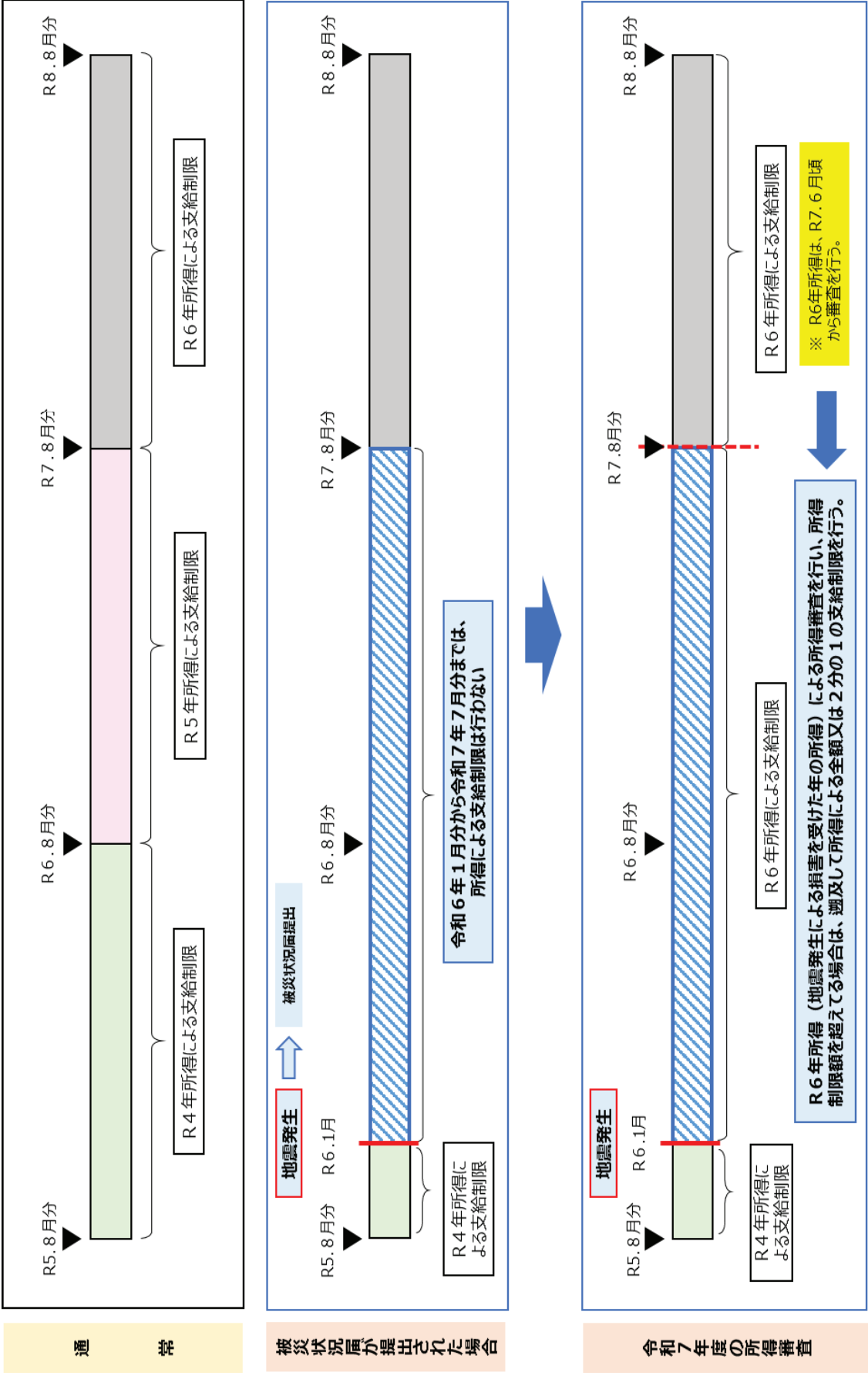
市(区)町村が被害を受けて証明書等を発行することができない等の理由で、上記の取扱いが困難である場合には、上記 4 の注意点について十分に説明した上で、被災者が抱える心情や問題に配慮し、適切な相談対応を行ってください。

【参考】

- ① (1) 20歳前に初診日がある傷病の障害基礎年金の受給権者 (年金コード2650・6350) 及び
- (3) 特別障害給付金の受給資格者の場合の所得審査



② (2) 老齢福祉年金の受給権者の場合の所得審査



日本年金機構 殿

令和 年 月 日提出

◎ 字は楷書ではっきりとご記入ください。

※ 送 付
令和 年 月 日 第 号

（裏 面）
注 意

①の欄

災害の種類は、震災、水害、火災などの別のほか、〇〇台風などのように、なるべく詳しくご記入ください。

②の欄

- 1 財産は、被災者又はその同一生計配偶者や扶養親族の名義のものでなければなりません。
- 2 その他の財産の()には、機械、器具、荷車、漁船、牛馬、水車などの事業用の財産の別をご記入ください。

③の欄

- 1 被災前の財産の概要とその価格には
住宅については、被災前のその構造と延面積(例 木造平屋建60平方メートル)とその価格を
住宅でない建物については、店舗、工場、倉庫、納屋などの名称、構造、延面積(例 店舗木造モルタル二階建100平方メートル)とその価格を
家財については、主な家財の名称と価格の総額を
宅地については、その総面積と価格を
田畑については、その総面積と価格を
その他の財産については、数量と価格を
ご記入ください。
- 2 損害の程度とその金額には
例えば住宅については、流失、全壊、半壊、土砂流入、軒下浸水、床上〇〇センチメートル浸水又は全焼、半焼、一部焼失のようにご記入ください。また、田畑については、流失、冠水、土砂堆積の別とその被害面積とをご記入ください。

(表 面)

国民年金 老齡福祉年金被災状況届

日本年金機構 殿

令和 年 月 日提出

氏名		個人番号(又は国民年金証書の記号番号)	
住所			
被災者 氏 名		あなたと の 続 柄	職業
被 災 当 時 の 住 所 又 は 居 所			
① 災害の種類		被災年月日 平成・令和 年 月 日	
② 次の財産のうち、最も被害の大きかったものを一つだけ○で囲んでください。 イ 住宅 ニ 宅地 ロ 住宅でない建物 ホ 田畑 ハ 家財 ヘ その他の財産（ ）			
③ ②の○で囲んだ財産について、下にご記入ください。 被災前の財産の概要とその価格 損害の程度とその金額 _____万円 _____万円			
④ この災害について、保険金又は損害賠償金を受けていますか。イかロのどちらかを○で囲んでください。 イ 受けている ロ 受けていない			
⑤ ④のイを○で囲んだ人は、受け取った保険金又は損害賠償金の金額を下にご記入ください。 _____万円			
◎ 裏面の注意をよく読んでからご記入ください。 ◎ ※印の欄は、記入しないでください。			※ 送 付
			令和 年 月 日 第 号

（裏 面）
注 意

①の欄

災害の種類は、震災、水害、火災などの別のほか、〇〇台風などのように、なるべく詳しくご記入ください。

②の欄

- 1 財産は、被災者又はその同一生計対象配偶者や扶養親族の名義のものでなければなりません。
- 2 その他の財産の()には、機械、器具、荷車、漁船、牛馬、水車などの事業用の財産の別をご記入ください。

③の欄

- 1 被災前の財産の概要とその価格には
住宅については、被災前のその構造と延面積(例 木造平屋建60平方メートル)とその価格を
住宅でない建物については、店舗、工場、倉庫、納屋などの名称、構造、延面積(例 店舗木造モルタル二階建100平方メートル)とその価格を
家財については、主な家財の名称と価格の総額を
宅地については、その総面積と価格を
田畑については、その総面積と価格を
その他の財産については、数量と価格を
ご記入ください。
- 2 損害の程度とその金額には
例えば住宅については、流失、全壊、半壊、土砂流入、軒下浸水、床上〇〇センチメートル浸水又は全焼、半焼、一部焼失のようにご記入ください。また、田畑については、流失、冠水、土砂堆積の別とその被害面積とをご記入ください。

(表 面)

特別障害給付金被災状況届

日本年金機構 殿

令和 年 月 日提出

氏名	個人番号(又は 受給資格者番号)		
住所			
被災者 氏 名	あなたと の 続 柄	職業	
被 災 当 時 の 住 所 又 は 居 所			
① 災害の種類	被災年月日	平成・令和	年 月 日
② 次の財産のうち、最も被害が大きかったものを一つだけ○で囲んでください。 イ 住宅 ニ 宅地 ロ 住宅でない建物 ホ 田畑 ハ 家財 ヘ その他の財産（ ）			
③ ②の○で囲んだ財産について、下にご記入ください。 被災前の財産の概要とその価格 損害の程度とその金額 _____万円 _____万円			
④ この災害について、保険金又は損害賠償金を受けていますか。イカロのどちらかを○で囲んでください。 イ 受けている ロ 受けていない			
⑤ ④のイを○で囲んだ人は、受け取った保険金又は損害賠償金の金額を下にご記入ください。 _____万円			
◎ 裏面の注意をよく読んでからご記入ください。 ◎ ※印の欄は、記入しないでください。			※ 送 付
			令和 ____ 年 __ 月 __ 日 第 _____ 号

（裏 面）
注 意

①の欄

災害の種類は、震災、水害、火災などの別のほか、〇〇台風などのように、なるべく詳しくご記入ください。

②の欄

- 1 財産は、被災者又はその同一生計対象配偶者や扶養親族の名義のものでなければなりません。
- 2 その他の財産の（ ）には、機械、器具、荷車、漁船、牛馬、家畜などの事業用の財産の別をご記入ください。

③の欄

- 1 被災前の財産の概要とその価格には
住宅については、被災前のその構造と延面積(例 木造平屋建60平方メートル) とその価格を
住宅でない建物については、店舗、工場、倉庫、納屋などの名称、構造、延面積(例 店舗木造モルタル二階建100平方メートル)とその価格を
家財については、主な家財の名称と価格の総額を
宅地については、その総面積と価格を
田畑については、その総面積と価格を
その他の財産については、数量と価格を
ご記入ください。
- 2 損害の程度とその金額には
例えば住宅については、流失、全壊、半壊、土砂流入、軒下浸水、床上〇〇センチメートル浸水又は全焼、半焼、一部焼失のようにご記入ください。また、田畑については、流失、冠水、土砂堆積の別とその被害面積とをご記入ください。